

2017年度 明治大学司書講習（夏期集中）シラバス

必修科目

科目	実施方法	講義等の内容	単位認定方法
生涯学習概論 [2単位]	講義	生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を解説する。 (1)生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際 (2)生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携 (3)生涯学習振興施策の立案と推進 (4)教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質 (5)社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携 (6)自治体の行財政制度と教育関連法規 (7)社会教育の内容・方法・形態(学習情報の提供と学習相談、評価を含む) (8)学習への支援と学習成果の評価と活用 (9)社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携 (10)社会教育指導者の役割	試験
図書館情報学概論 [2単位]	講義	図書館の機能および社会における意義や役割について、考える。図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者のニーズ、図書館員の役割、類縁機関との関わりおよび今後の課題と展望などの基本を学ぶ。 (1)図書館とはなにか (2)生涯学習と図書館 (3)図書館の法的基盤 (4)図書館の種類と活動 (5)地域社会と図書館 (6)図書館の自由 (7)出版と図書館、著作権 (8)図書館の歴史的展開 (9)図書館関係団体と学習の手引き (10)外国の図書館	試験
図書館情報技術論 [2単位]	講義・演習	図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う。 (1)コンピュータとネットワークの基礎 (2)情報技術と社会 (3)図書館における情報技術活用の現状 (4)図書館業務システムの仕組み(ホームページによる情報の発信を含む) (5)データベースの仕組み (6)検索エンジンの仕組み (7)電子資料の管理技術 (8)コンピュータシステムの管理(ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む) (9)デジタルアーカイブ (10)最新の情報技術と図書館	試験
図書館制度・経営論 [2単位]	講義	図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。 (1)図書館法(逐条解説) (2)他館種の図書館に関する法律等(学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、身体障害者福祉法) (3)図書館サービス関連法規(子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等)	試験

		<p>(4)図書館政策(国、地方公共団体)</p> <p>(5)公共機関・施設の経営方法(マーケティング,危機管理を含む)</p> <p>(6)図書館の組織・職員(組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携)</p> <p>(7)図書館の施設・設備</p> <p>(8)図書館のサービス計画と予算の確保</p> <p>(9)図書館業務・サービスの調査と評価</p> <p>(10)図書館の管理形態の多様化</p>	
図書館サービス論 [2単位]	講義	<p>図書館サービスの考え方について理解を深めるため、資料・情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等のサービス、著作権等について、事例を含め、解説する。</p> <p>(1)図書館における情報サービスの意義</p> <p>(2)情報サービスと公共図書館</p> <p>(3)図書館サービスの歴史 [戦前] [戦後]</p> <p>(4)情報提供のかたち —レファレンスサービス</p> <p>(5)情報センターとしての図書館</p> <p>(6)課題解決型サービス</p> <p>(7)すべての人に開かれたひろば</p> <p>(8)協力と連携</p> <p>(9)コミュニケーションのひろば</p> <p>(10)図書館サービスと著作権</p> <p>(11)危機管理</p> <p>(12)広報活動 SNS</p>	レポート
情報サービス論 [2単位]	講義	<p>図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等の新しいサービスについて解説する。</p> <p>(1)情報社会と図書館の情報サービス</p> <p>(2)図書館における情報サービスの意義と種類(レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等)</p> <p>(3)レファレンスサービスの理論(利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等)</p> <p>(4)レファレンスサービスの実際(レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点等)</p> <p>(5)情報検索サービスの理論と方法</p> <p>(6)各種情報源の特質と利用法</p> <p>(7)各種情報源の解説と評価(参考図書、ネットワーク情報資源等を含む)</p> <p>(8)各種情報源の組織化(二次資料の作成、情報発信を含む)</p> <p>(9)発信型情報サービスの意義と方法</p> <p>(10)図書館利用教育(情報リテラシーの育成を含む)</p>	試験
児童サービス論 [2単位]	講義	<p>児童(乳幼児からヤングアダルトまで)を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。</p> <p>(1)発達と学習における読書の役割</p> <p>(2)児童サービスの意義(理念と歴史を含む)</p> <p>(3)児童資料(絵本)</p> <p>(4)児童資料(物語と伝承文学、知識の本)</p> <p>(5)児童サービスの実際(資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等)</p> <p>(6)乳幼児サービス(ブックスタート等)と資料</p> <p>(7)ヤングアダルトサービスと資料</p> <p>(8)学習支援としての児童サービス(図書館活用指導、レファレンスサービス)</p> <p>(9)学校、学校図書館の活動(公立図書館との相違点を含む)</p> <p>(10)学校、家庭、地域との連携・協力</p>	試験
情報サービス演習 [2単位]	演習	<p>情報サービスの設計から評価に至る各種の業務、利用者の質問に対するレファレンスサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して、実践的な能力を養成する。</p>	実習・試験

		<p>(1)情報サービスの設計(レファレンスサービスの体制づくりを含む)</p> <p>(2)レファレンスコレクションの整備</p> <p>(3)レファレンスインタビューの技法と実際</p> <p>(4)情報検索の技法と実際(各種データベースの検索演習や電子ジャーナルの活用)</p> <p>(5)質問に対する検索と回答(質問の分析と情報源の選択を含む)</p> <p>(6)発信型情報サービスの実際(パスファインダーの作成を含む)</p> <p>(7)情報サービスの評価(レファレンス事例の作成・評価を含む)</p>	
図書館情報資源論 [2単位]	講義	<p>印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。</p> <p>(1)印刷資料・非印刷資料の類型と特質(図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む)</p> <p>(2)電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質</p> <p>(3)地域資料、行政資料(政府刊行物)、灰色文献</p> <p>(4)情報資源の生産(出版)と流通(主な出版者に関する基本的知識を含む)</p> <p>(5)図書館業務と情報資源に関する知識(主な著者に関する基本的知識を含む)</p> <p>(6)コレクション形成の理論(資料の選択・収集・評価)</p> <p>(7)コレクション形成の方法(選択ツールの利用、選定・評価)</p> <p>(8)人文・社会科学分野の情報資源とその特性</p> <p>(9)科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性</p> <p>(10)資料の受入・除籍・保存・管理(装備・補修・排架・展示・点検等を含む)</p>	試験
情報資源組織論 [2単位]	講義	<p>印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用法等を解説する。</p> <p>(1)情報資源組織化の意義と理論</p> <p>(2)書誌コントロールと標準化</p> <p>(3)書誌記述法(主要な書誌記述規則)</p> <p>(4)主題分析の意義と考え方</p> <p>(5)主題分析と分類法(主要な分類法)</p> <p>(6)主題分析と索引法(主要な統制語彙)</p> <p>(7)書誌情報の作成と流通(MARC、書誌ユーティリティ)</p> <p>(8)書誌情報の提供(OPACの管理と運用)</p> <p>(9)ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ</p> <p>(10)多様な情報資源の組織化(地域資料、行政資料等)</p>	試験
情報資源組織演習 [2単位]	演習	<p>多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。</p> <p>(1)書誌データ作成の実際</p> <p>(2)主題分析と分類作業の実際</p> <p>(3)主題分析と統制語彙適用の実際</p> <p>(4)集中化・共同化による書誌データ作成の実際</p> <p>(5)書誌データ管理・検索システムの構築</p> <p>(6)ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際</p>	実習 ・試験

選択科目

科 目	実施方法	講義等の内容	単位認定方法
図書館基礎特論 [1単位]	講義	図書館における今日的な諸課題について取り上げ解説する。	
大学図書館論 ※ 明治大学中央図書館の見学を予定しています。		1)大学図書館の機能と役割 2)資料収集方針と学術情報の特論 3)大学図書館と書誌ユーティリティ 4)大学図書館の情報サービス機能と図書館員 5)情報リテラシー、図書館リテラシーの重要性 6)図書館ネットワークの現状と相互協力体制の構築 7)大学図書館の課題	試験
学校図書館論 ※ 明治大学付属明治中学校・高等学校図書館の見学を予定しています。 ・別途、交通費が必要です。 ・所要時間片道1時間程度の予定です。		1)学校図書館の意義 2)司書教諭の役割と仕事 3)学校司書・ボランティアの役割と仕事 4)学校図書館の利用者サービス 5)公共図書館との連携・地域のネットワーク 6)学校図書館の現状と課題	試験 または レポート
国立国会図書館論 ※ 国立国会図書館の見学を予定しています。 ・別途、交通費が必要です。 ・国立国会図書館の開館都合等により、見学が実施されないこともあります。		1)国立国会図書館とは（設立の目的、国立図書館機能と議会図書館機能、沿革等） 2)組織と職員 3)資料の収集と保存（納本制度、オンライン資料の収集等） 4)資料の組織化と書誌データの提供 5)利用者サービス（国会及び行政・司法各部門に対するサービス、国民に対するサービス） 6)図書館及び関係機関へのサービス・協力 7)電子図書館 8)今後の課題	試験 または レポート
専門図書館論 ※ 専門図書館（場所未定）の見学を予定しています。 ・別途、交通費が必要です。		1)学術情報政策の動向 2)学術情報の連環 3)音楽図書館の活動 4)医学図書館の活動 5)情報専門家養成の動向 6)境界喪失と新たな展望	試験 または レポート
障害者サービス論 [1単位]	講義	1)障害者サービスとは何か、対象となる利用者 2)障害者サービスを行う人（職員と図書館協力者、その養成と研修） 3)障害者サービス用資料とその活用方法、および資料の製作 4)障害者・高齢者に配慮した施設・設備・機器 5)対面労働、郵送貸出、宅配 6)施設入所者へのサービス、入院患者サービス 7)高齢者、知的障害者・発達障害者および障害を持つ子供へのサービス 8)聴覚障害者へのサービス 9)障害者差別解消法と障害者サービス 10)多文化サービス 11)障害者サービスの課題、今後の展望	試験

<p>図書館情報資源特論 A (専門資料論) [1単位]</p>	<p>講義</p>	<p>1)専門分野の特性 2)主題文献の特性と種類 3)主要な一次・二次資料</p>	<p>試験</p>
<p>図書館情報資源特論 B (書誌学) [1単位]</p>	<p>講義</p>	<p>書誌という言葉を広くとらえる。和装本、さらに洋装本についてもとりあげ、本をモノとしてみるのはもちろんのこと書誌情報がどうあるのか、図書館業務との接点からこれらを考察する。 1)洋装本一判型・洋紙・種類と歴史・形態と名称 2)和装本一大きさ・和紙・種類と歴史・形態と名称 3)装訂・補修 4)利用と保存 5)古典籍と書誌情報(含書庫ツアー)</p>	<p>試験</p>
<p>図書館文化論 [1単位]</p>	<p>講義</p>	<p>必修科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、文字の発生、記録媒体の変遷、製紙法の伝播、印刷術の発明など、図書をはじめとする情報資源の形態、生産(印刷等を含む)、普及、流通等の歴史並びに図書館の歴史的発展について解説する。 1)文字の発生と書写材料および図書の形態の変遷 2)古代の図書館と写本の時代(僧院と大学の図書館) 3)印刷術の発明、コーヒーハウスと貸本屋 4)公共図書館法成立(英米) 5)わが国の図書および図書館史概観</p>	<p>試験</p>
<p>図書館建築と施設計画 [1単位]</p>	<p>講義</p>	<p>1)図書館建築の方向性 2)図書館建築の歴史 3)基本計画書の重要性 4)図書館利用圏域の広がり図書館選択行動 5)利用者層による多様な図書館の使われ方 6)事例:海外編(米、英、加、仏、北欧など) 7)事例:あきる野市のふたつの図書館 8)ファシリティマネジメントの重要性+図書館建築・定石の再検証 9)開架スペースと開架書庫 10)インテリア(家具・サイン・内装材…) 11)安全な図書館</p>	<p>試験</p>

以上